

株式会社渡辺海苔店 様

業務用食材卸の老舗企業が RPA自動受注、EDI発注システム 導入で働き方改革を実現

(株)渡辺海苔店は焼き海苔、厚焼玉子の加工・卸販売や、寿司用食材の卸販売を食品専門商社や量販店、回転寿司チェーンやコンビニエンスストアなど、様々な分野の得意先に展開しています。販売形態としては自社加工した商品や仕入商品を販売拠点に在庫し、得意先の注文に応じて出荷を行うという内容です。

これらの処理をRPAによる受注自動化、調達処理のEDI化でのチェック作業大幅削減で、働き方改革を実現したプロジェクトです。



株式会社渡辺海苔店

住 所	宮城県本吉郡南三陸町志津川字林108番地
設 立 年 月	昭和43年9月
資 本 金	46,000千円
年 商	5,460百万円(2019年8月)

導入前の問題点

日々のEDI受注及び毎月の買掛処理に膨大な時間がかかっていた

得意先からEOSやWEB-EDIによる受注処理が全拠点で毎日40件程度存在し、手作業による受注処理及び出荷帳票の発行を行っていた。1件あたりの処理時間は10分程度だが、これが毎日40件となると膨大な処理時間となっていた。

買掛処理では仕入先からの納品書及び請求書をもとに仕入単価チェックを行っており、全拠点での作業量は月間で、延べ12人程度発生していた。こちらにおいても膨大な作業時間の発生が常態化していた。

導入の経緯

現在の人材の有効利用及び将来的な人材難にそなえた「働き方改革」が急務

昨今、「働き方改革」というワードをよく目にするようになって久しく、将来的に人材の確保が非常に難しくなることは目に見えている。それに備え、単純作業が得意なRPAの導入によるEDI受注の自動化、及び膨大な時間を割いていた買掛処理をEDI化することで仕入先との発注・仕入・支払の処理をデータ一元管理することで両者間の齟齬がなくなり、チェック作業を削減することによる作業量の大幅な削減で「働き方改革」を実現することが急務となっていた。

選定理由

比較的安価なシステムコストによる運営が可能である

- ・NEC製のRPAを導入することにより、他社に比べて安価なランニングコストとなる。
- ・仕入先にシステム利用料を負担頂くことで発注EDIシステムの利用料を賄える。
- ・EDI発注システムとのシームレスな連携が行える。
- ・EDI発注システムとの連携実績がある。

成功のポイント

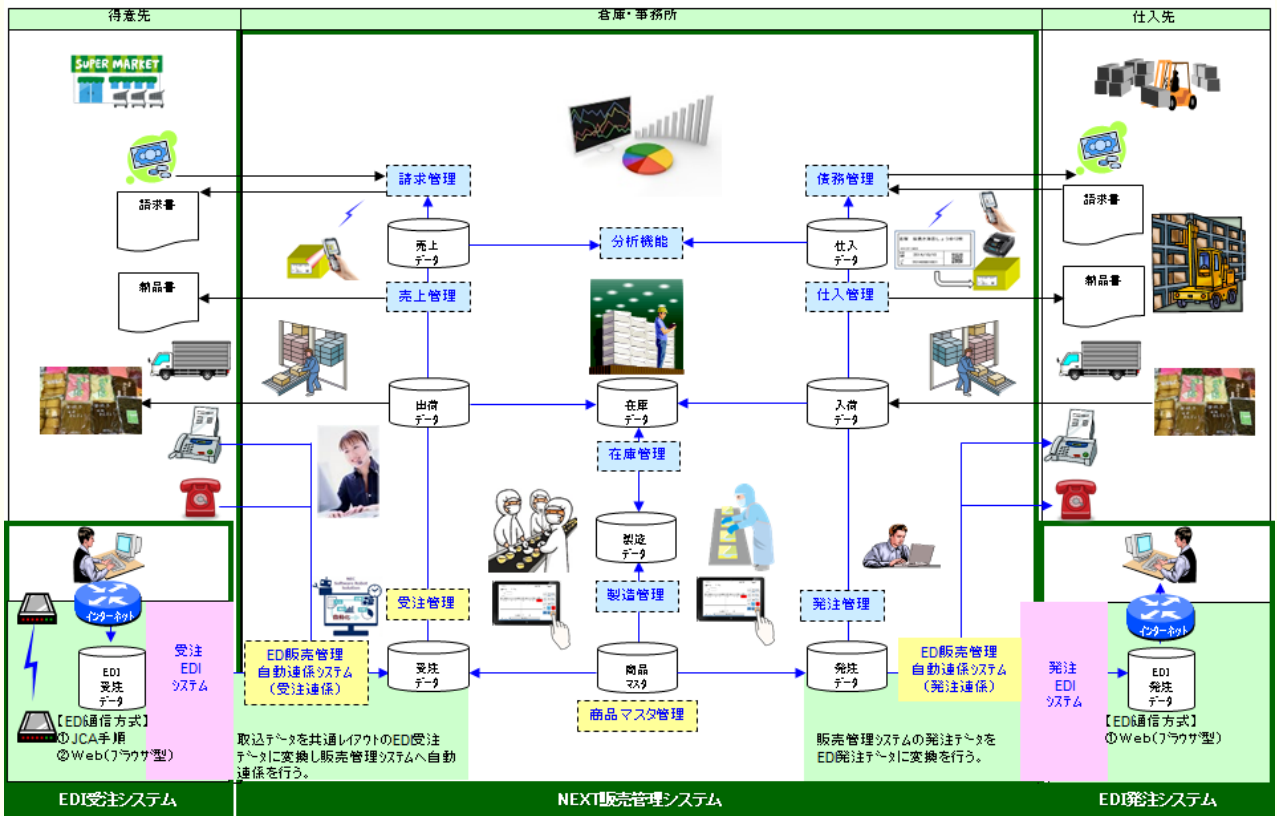
とても簡単でだれでもが運用可能な操作性を実現

RPAによるEDI受注の自動化については、一度設定してしまえば、受注、出荷帳票発行という処理を決まった時間に行うため、単純な作業量の削減となる。

買掛処理のEDI化についてはEDI発注システムを導入することにより、今まで通りの発注入力を行うだけで自動的に連携することができるとともに、仕入先からの納品情報の受領により、入荷精度が向上する。また、それらの入荷情報をもとに支払案内を行うことで請求書との突合がなくなる。

処理イメージ

RPAによるEDI自動受注及びEDI発注システムとのシームレスな連携



販売開発元 株式会社SJC

URL <http://sjc-sendai.co.jp>

〒984-0015 仙台市若林区卸町2-9-5(第二OCビル)

TEL022-284-0286 FAX022-284-0265

販売代理店



☆この資料の内容は、予告なしに変更することがありますので、ご了承願います。